

児童福祉施設実態調査項目検討作業部会委員

及び調査にご協力いただいた施設団体

1. 児童福祉施設実態調査項目検討作業部会委員

作業部会名	氏名	所属
乳児院部会	ニツ山 亮 ○	丘の家乳幼児ホーム
	小幡 律子	ドルカス・ベビーホーム
	鈴木 祐子	二葉乳児院
児童養護施設部会	加賀美 尤祥 ○	山梨立正光生園
	神戸 信行	青葉学園
	曹 徳善	愛神愛隣舎
児童自立支援施設部会	奥田 晃久 ○	東京都立誠明学園
	国分 光雄	埼玉県立埼玉学園
	西嶋 嘉彦	大阪府立修徳学院
情緒障害児短期治療施設部会	細江 逸雄 ○	愛知県立ならわ学園
	高田 治	横浜いずみ学園
	山田 正史	名古屋市くすのき学園

○は部会長

2. 調査にご協力いただいた施設団体

全国乳児福祉協議会
全国児童養護施設協議会
全国児童自立支援施設協議会
全国情緒障害児短期治療施設協議会

平成 15 年 2 月 12 日

児童養護施設長 様
乳児院長 様
児童自立支援施設長 様
情緒障害児短期治療施設長 様

日本子ども家庭総合研究所
ソーシャルワーク研究担当部長 才村 純

調査のご協力について(お願い)

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当研究所の調査研究に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当研究所では、平成 14 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究)の一環として「児童福祉施設における被虐待児童の実態等に関する調査研究」を実施することになりました。児童虐待問題の深刻化に伴い、児童福祉施設には種別の如何を問わず、被虐待児童の入所が急増しつつあり、いずれの施設においても対応に苦慮されているのが実情です。しかし、入所児童の生活実態やニーズ、職員の職務の実態等については全国的な把握ができていないことも事実であります。

このため、本調査研究では、別紙概要により、これらに関する実態調査を行うことにより、利用者一人ひとりのニーズに的確に対応できる施設処遇のあり方や、これからの児童福祉施設等のあり方について短期的および中長期的な提言を行うことといたしました。

つきましては、年度末のご多用の中、また、非常に負担の大きい調査で誠に恐縮ですが、どうか本調査の趣旨をお汲み取りいただき、ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、本調査の一環として、一部の施設につきましては、職員の勤務の実態をさらに精査するため、後日業務量調査をお願いすることとしております。ご協力いただく施設につきましては、改めてご依頼申し上げたいと考えておりますので、本調査と同様、ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

国では、現在、社会保障審議会児童部会に児童虐待の防止等に関する専門委員会を設け、児童虐待防止制度の見直しに向けた検討を行っております。本調査によるデータはこの委員会にも報告し、今後の法制度の見直しの基礎資料として活用する所存でございます。

調査結果は数的に処理することとし、公表に際しましても個々の施設名等が出ることはございません。

誠に恐縮ですが、ご回答いただいた調査票は、おとりまとめの上、3月5日までに着払い宅配便にて当研究所あてご返送くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査の実施に当たりましては、各施設協議会のご了承を頂戴していること、また、調査票の作成に当たりましては、各協議会からご推薦いただいた作業委員のご協力を頂戴しましたことを申し添えます。

お問い合わせ先および調査票送付先

日本子ども家庭総合研究所

〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8

才村 純(主任研究者) TEL 03-3473-8373

澁谷 昌史 TEL 03-3473-8341

伊藤 嘉余子 TEL 03-3473-8347

Fax 03-3473-8408

平成 15 年 2 月 21 日

児童養護施設長様
乳児院長様
児童自立支援施設長様
情緒障害児短期治療施設長様

日本子ども家庭総合研究所
ソーシャルワーク研究担当部長 才村 純

厚生労働科学研究「児童福祉施設における被虐待児童
の実態等に関する調査」の留意点について(お願い)

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当研究所の調査研究に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日、標記調査について調査票を送付させていただいたところでありますが、その後、多くの施設からお問い合わせを頂戴しております。その中でも、特に多くのご質問を頂いた点に関しまして、別紙のとおり「調査に当ってご留意頂きたい事柄」として当方の考え方をまとめさせていただきました。ご参考のうえ調査にご回答いただきますようよろしくお願い申し上げます。既に、調査票にご記入いただいている施設には大変ご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げますとともに、再度ご回答内容を点検していただければ幸いです。

年度末のご多忙な時期に、また大変ご負担の大きい調査で誠に恐縮でございますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先および調査票送付先

日本子ども家庭総合研究所

〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8

才村 純(主任研究者) TEL 03-3473-8373

澁谷 昌史 TEL 03-3473-8341

伊藤嘉余子 TEL 03-3473-8347

Fax 03-3473-8408

調査に当ってご留意頂きたい事柄(乳児院用)

1. 2月1日現在における状況についてご回答ください。
2. 個人プロフィールは、被虐待児童のみならず、2月1日現在において入所している全ての児童についてご回答ください。
3. 本調査でいう「直接処遇職員」とは、直接処遇職員に関する一般的な定義とは関わりなく、次の職種とします。従って、「職員プロフィール」は下記の職種に該当する全ての職員についてご回答ください。また、常勤・非常勤の別を問いません。
 - ・ 主任児童指導員
 - ・ 主任保育士
 - ・ 児童指導員
 - ・ 保育士
 - ・ 医師(施設長を除く)
 - ・ 看護師(准看を含む)
 - ・ 助産師
 - ・ 家庭支援専門相談員
 - ・ 作業療法士
 - ・ 理学療法士
 - ・ 心理療法を担当する職員

調査に当たってご留意頂きたい事柄(児童養護施設用)

1. 2月1日現在における状況についてご回答ください。
2. 個人プロフィールは、被虐待児童のみならず、2月1日現在において入所している全ての児童についてご回答ください。
3. 本調査でいう「直接処遇職員」とは、直接処遇職員に関する一般的な定義とは関わりなく、次の職種とします。従って、「職員プロフィール」は下記の職種に該当する全ての職員についてご回答ください。また、常勤・非常勤の別を問いません。
 - ・ 主任児童指導員
 - ・ 主任保育士
 - ・ 児童指導員
 - ・ 保育士
 - ・ 職業指導員
 - ・ 医師(施設長を除く)
 - ・ 看護師(准看を含む)
 - ・ 助産師
 - ・ 学習指導を担当する職員
 - ・ 作業療法士
 - ・ 理学療法士
 - ・ 心理療法を担当する職員
 - ・ 個別担当職員

4. グループホームの扱いについて

本調査はグループホームも対象とします。従って、グループホームを運営されている施設にあっては、次の事項にご留意のうえ、ご回答ください。なお、グループホームとは、本体施設外でおおむね6名までの児童を養育する場所を意味し、小規模児童養護施設や児童養護施設分園型自活訓練事業の指定施設の他に、単県での事業を含むものとします。

(1) 施設プロフィール票

- ・ 誠に恐れ入りますが、グループホームの施設プロフィールにつきましては、「施設プロフィール票」をコピーのうえ、ご回答ください。
- ・ 「1」には、グループホームの名称をご記入いただくとともに、グループホーム名のあとに「グループホーム」とご記入ください。以下、「貴施設」を「貴グループホーム」と置き換えてご回答ください。
- ・ 「2」～「4」はお答えいただかなくても結構です。
- ・ 「5」にはグループホームが設立された年を四桁の西暦でご記入ください。
- ・ 「6」～「7」はお答えいただかなくても結構です。
- ・ 「10」～「12」はお答えいただかなくても結構です。

- ・ 「13」はグループホームに該当する職員についてご記入ください。本体施設の職員数については本体施設の施設プロフィール票にご記入ください。
- ・ 「15」～「16」はお答えいただかなくても結構です。
- ・ 「25」～「53」はお答えいただかなくても結構です。
- ・ 「59」～「64」はお答えいただかなくても結構です。
- ・ 「71」～「72」はお答えいただかなくても結構です。
- ・ 「78」～「80」はお答えいただかなくても結構です。
- ・ 「88」～「90」はお答えいただかなくても結構です。

(2) 職員プロフィール票

- ・ 「1」には、グループホームで勤務する職員について通し番号をご記入いただくとともに、番号のあとに必ず「グループホーム」とご記入ください。以下、「貴施設」を「貴グループホーム」と置き換えてご回答ください。
- ・ 本体施設とグループホームを兼任している職員については、主たる業務を行っているのが施設かグループホームかによって、いずれかのプロフィール票にご回答ください。同一職員について重複しないようご注意ください。
- ・ 「16」の「施設敷地内」「施設敷地外」の施設とは本体施設をさします。

(3) 個人プロフィール票

- ・ 「1」には、グループホームに在籍する児童について通し番号をご記入いただくとともに、番号のあとに必ず「グループホーム」とご記入ください。以下、「貴施設」を「貴グループホーム」と置き換えてご回答ください。

調査に当ってご留意頂きたい事柄(児童自立支援施設用)

1. 2月1日現在における状況についてご回答ください。
2. 個人プロフィールは、被虐待児童のみならず、2月1日現在において入所している全ての児童についてご回答ください。
3. 本調査でいう「直接処遇職員」とは、直接処遇職員に関する一般的な定義とは関わりなく、次の職種とします。従って、「職員プロフィール」は下記の職種に該当する全ての職員についてご回答ください。また、常勤・非常勤の別を問いません。
 - ・ 主任児童指導員
 - ・ 主任保育士
 - ・ 児童指導員
 - ・ 児童自立支援専門員
 - ・ 保育士
 - ・ 児童生活支援員
 - ・ 職業指導員
 - ・ 医師(施設長を除く)
 - ・ 看護師(准看を含む)
 - ・ 助産師
 - ・ 学習指導を担当する職員
 - ・ 作業療法士
 - ・ 理学療法士
 - ・ 心理療法を担当する職員
 - ・ 個別担当職員

調査に当ってご留意頂きたい事柄(情緒障害児短期治療施設用)

1. 2月1日現在における状況についてご回答ください。
2. 個人プロフィールは、被虐待児童のみならず、2月1日現在において入所している全ての児童についてご回答ください。
3. 本調査でいう「直接処遇職員」とは、直接処遇職員に関する一般的な定義とは関わりなく、次の職種とします。従って、「職員プロフィール」は下記の職種に該当する全ての職員についてご回答ください。また、常勤・非常勤の別を問いません。
 - ・ 主任児童指導員
 - ・ 主任保育士
 - ・ 児童指導員
 - ・ 保育士
 - ・ 職業指導員
 - ・ 看護師(准看を含む)
 - ・ 助産師
 - ・ 学習指導を担当する職員
 - ・ 作業療法士
 - ・ 理学療法士
 - ・ 心理療法を担当する職員
 - ・ 個別担当職員
4. 通所部門の取扱いについて
 - (1) 本調査は入所施設の実態を把握することを目的としています。従って、通所部門については調査の対象といたしません。
 - (2) ただし、実態としては、入所施設の職員が通所部門での業務を兼ねたり、逆に通所部門の職員が入所施設の業務を兼ねたりする場合もあろうかと考えられます。入所施設の職員が通所部門での業務を兼ねている場合は、「職員プロフィール」のすべての質問にご回答ください。通所部門の職員が入所施設の業務を兼ねている場合も「職員プロフィール」にご回答いただくこととなりますが、その際は下記の点にご留意ください。
 - ① 「1」の職員番号のあとに必ず「通所部門職員」とご記入ください。
 - ② 「6」は通所部門の勤続月数ではなく、入所施設における勤続月数をご記入ください。
 - ③ 「12」～「16」の質問にはお答えいただかなくても結構です。
 - ④ 「17」入所施設内にいる時間についてご記入ください。
 - ⑤ 「18」～「20」は入所施設での宿直、夜勤についてご回答ください。
 - ⑥ 「23」～「36」については、入所施設での業務についてご回答ください。

児童福祉施設における被虐待児童の実態等に関する調査研究

<施設プロフィール票～乳児院～>

I 貴施設の概要についておうかがいします。

1 貴施設名をご記入ください。

()

2 貴施設の設置主体について、以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。

1 都道府県・政令指定都市 2 市区町村(政令指定都市を除く) 3 社会福祉法人等

3 貴施設の経営主体について、以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。

1 都道府県・政令指定都市 2 市区町村(政令指定都市を除く) 3 社会福祉法人等

4 3で「3 社会福祉法人」と回答した施設のみご回答ください。

貴施設の経営主体が経営する社会福祉施設数を、以下の種別ごとにご記入ください。

* 貴施設も計上してください。

* 法外施設については、計上しないでください。

4-01 助産施設	()	施設
4-02 乳児院	()	施設
4-03 母子生活支援施設	()	施設
4-04 保育所	()	施設
4-05 児童厚生施設	()	施設
4-06 児童養護施設	()	施設
4-07 知的障害児施設	()	施設
4-08 知的障害児通園施設	()	施設
4-09 盲ろうあ児施設	()	施設
4-10 肢体不自由児施設	()	施設
4-11 重症心身障害児施設	()	施設
4-12 情緒障害児短期治療施設	()	施設
4-13 児童自立支援施設	()	施設
4-14 児童家庭支援センター	()	施設
4-15 婦人保護施設	()	施設
4-16 母子福祉施設	()	施設
4-17 老人福祉施設	()	施設
4-18 身体障害者更生援護施設	()	施設
4-19 知的障害者援護施設	()	施設
4-20 保護施設	()	施設
4-21 上記に含まれない社会福祉施設	()	施設

5 貴施設が設立された年を四桁の西暦でご記入ください。

() 年

6 貴施設が認可された年を四桁の西暦でご記入ください。

() 年

- 7 認可定員数をご記入ください 入所()名
- 8 現員数をご記入ください(平成15年2月1日現在入所()名
- 9 利用者(児童)一人あたりの居室面積をご記入() 平米
- 10 改築予定について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。
- 1 全面改築予定 2 増改築予定 3 大規模修繕予定 4 予定なし
- 11 10年以内の改築実績について、以下の選択肢からあてはまるものすべてを選び、○をご記入ください。
- 11-01 全面改築 ()
- 11-02 増改築 ()
- 11-03 大規模修繕 ()
- 11-04 実績なし ()

Ⅱ 貴施設における職員及び勤務状況についておうかがいします。

- 12 職種ごとの人数について、以下の表にご記入ください(単位 名)。(平成15年2月1日現在)

	定員	現員		合計
		男	女	
施設長	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
児童指導員	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
保育士	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
栄養士	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
調理師	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
医師	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
心理療法士	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
保健師	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
看護師	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
家庭支援専門相談員	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
個別対応職員	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
事務員	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
その他	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()
合計	常勤()	常勤()	常勤()	常勤()
	非常勤()	非常勤()	非常勤()	非常勤()

- 13 「その他」の内訳について、以下の選択肢からあてはまるものをすべて選び○をお付けください。

- 13-01 入所児童の自立支援のための職員 ()
- 13-02 各種スポーツ等表現活動を指導する職員 ()
- 13-03 その他() ()

14 職員の現員数から職員定員数を引いた数をご記入ください。

()

15 上記設問においてプラスになった場合、その財源となっているものについて、以下の選択肢からあてはまるものすべてを選び、○をご記入ください。

- 15-01 措置費からの検出 ()
- 15-02 自治体の補助金 ()
- 15-03 施設会計における剰余金 ()
- 15-04 本部会計からの繰入 ()
- 15-05 寄付金 ()
- 15-06 バザー等の収益 ()
- 15-07 上記外 ()

16 職員の産休ないし育休に伴う代替職員を確保する際の方法として、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

- 1 非常勤として雇用 2 雇用していない 3 その他()

17 年次有給休暇をとった職員の代わりとなる職員を確保する際の方法として、以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。

- 1 非常勤として雇用 2 雇用していない 3 その他()

18 直接処遇職員について、社会福祉実践現場での経験年数別に人数をご記入ください。

* 本調査において、「直接処遇職員」とは、生活場面を通して、利用者(児童)の日常的な世話をを行う職員のことを意味します。

* ここでいう「経験年数」とは、社会福祉実践現場(ただし、法外施設は含まないものとする)での職員経験年数(非常勤を含む)を指します。

- 18-01 5年未満 () 名
- 18-02 5年以上10年未満 () 名
- 18-03 10年以上15年未満 () 名
- 18-04 15年以上 () 名

19 職員の夜間体制(管理宿直を除く)について、あてはまるものを一つ選び○をお付けください。

- 1 宿直制 2 夜勤制 3 宿直・夜勤の併用 4 その他()

20 夜間体制の職員配置について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

* ここでいう「夜間体制」には、宿直による体制も、夜勤による体制も含まれるものとします。

- 1 常に男性と女性の双方が勤務につくようになっている 2 とくに性別について考慮していない

21 貴施設では、夜間管理のみを担当する職員を雇っていますか。

* 直接処遇にかかわらない、夜間の時間帯のみの非常勤(アルバイト)を意味します。

- 1 雇っている 2 雇っていない

22 夜間体制で配置される職員についてあてはまるものを一つ選び○をお付けください。

* ここで言う「非常勤職員」には、保育士や児童指導員の「非常勤」を含みます。

- 1 すべて常勤職員で対応 2 常勤・非常勤職員併用で対応 3 すべて非常勤職員で対応 4 その他

23 夜間管理に従事する人数についてご記入ください。

施設全体で、一晩につき約()人が夜間管理にあっている

Ⅲ 貴施設におけるサービスの基本方針と運営管理についておうかがいします。

24 福祉サービスの質の向上や改善に向けた検討会議を定例的に開催していますか。以下の選択肢からあてはまるものを選び、○をお付けください。

*ここでいう「検討会議」には、日常の引継ぎなどは含みません。詳細は、別紙の「記入要綱」をご参照ください。

- 1 定例的に開催している 2 非定例的に必要に応じて開催している(設問「26」へ)
3 まったく開催していない(設問「26」へ)

25 上記設問で「1 定例的に開催している」とご記入された施設におうかがいします。それはどの程度の頻度で行われているものですか。以下の選択肢からあてはまるものを選び、○をお付けください。

- 1 1週間に1回以上の頻度で開催している 2 1か月に2～3回の頻度で開催している
3 1か月に1回程度の頻度で開催している 4 半年に2～3回の頻度で開催している
5 半年に1回程度の頻度で開催している 6 1年に1回程度の頻度で開催している
7 いずれにもあてはまらない

26 研修担当を配置していますか。以下の選択肢からあてはまるものを選び、○をお付けください。

- 1 ある 2 ない(設問「28」へ)

27 上記設問で「1 ある」とご記入された施設におうかがいします。どのように担当を決定していますか。以下の選択肢からあてはまるものを選び、○をお付けください。

- 1 施設長ないし副施設長クラスの職員が研修担当者を兼任している
2 主任クラスの職員が研修担当者を兼任している
3 職種や職階を問わず、研修担当に適任と思われる人材を研修担当者としている
4 その他()

28 施設内研修を定例的に実施していますか。以下の選択肢からあてはまるものを選び、○をお付けください。

- 1 定例的に実施している 2 非定例的に必要に応じて実施している(設問「30」へ)
3 まったく実施していない(設問「30」へ)

29 上記設問で「1 定例的に実施している」とご記入された施設におうかがいします。それはどの程度の頻度で行われているものですか。以下の選択肢からあてはまるものを選び、○をお付けください。

- 1 1か月に一度以上実施している 2 3か月に一度以上実施している 3 半年に一度以上実施している
4 1年に一度以上実施している 5 いずれにもあてはまらない

30 学会や各種施設外研修への参加を義務付けていますか。以下の選択肢から、あてはまるものを選び、○をお付けください。

- 1 義務付けている(設問「32」へ) 2 義務付けていない

31 設問「30」で「2 義務付けていない」とご記入された施設におうかがいします。貴施設の職員が学会や各種施設外研修への参加を申請した場合、どのような扱いをしますか。以下の選択肢から、あてはまるもの一つを選び、○をお付けください。

- 1 基本的に出張としての参加を認めている 2 基本的に各自が休暇を使って参加するようにしている
3 その他()

32 貴施設の直接処遇職員に対して、定例的にスーパービジョンを実施していますか。以下の選択肢から、あてはまるもの一つを選び、○をお付けください。

* 全職員対象ではなく、たとえば経験年数の浅い職員だけを対象にしている場合も、「実施している」とご判断ください。

* 「スーパービジョン」…先輩職員等が、職員に対して適切な援助指導を行うことです。

1対1の「個人スーパービジョン」も、何人かを集めて行う「グループスーパービジョン」も含めてご判断ください。

- 1 定例的に実施している 2 非定例的に必要に応じて実施している(設問「34」へ)
3 まったくしていない(設問「36」へ)

33 上記設問で「1定例的に実施している」とご記入された施設におうかがいします。それはどの程度の頻度で行われているのですか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。

- 1 1週間に1回以上の頻度で開催している 2 1か月に2～3回の頻度で開催している
3 1か月に1回程度の頻度で開催している 4 半年に2～3回の頻度で開催している
5 半年に1回程度の頻度で開催している 6 1年に1回程度の頻度で開催している
7 いずれにもあてはまらない

34 設問「32」で、「1 定例的に実施している」「2 非定例的に必要に応じて実施している」とご記入された施設におうかがいします。外部の専門家に依頼して実施することはありますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。

- 1 ある 2 ない(設問「36」へ)

35 上記設問で「1 ある」とご記入された施設におうかがいします。それは1年間で平均してみたときに、どのくらいの頻度で招いていますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。

- 1 1週間に1回以上の頻度で開催している 2 1か月に2～3回の頻度で開催している
3 1か月に1回程度の頻度で開催している 4 半年に2～3回の頻度で開催している
5 半年に1回程度の頻度で開催している 6 1年に1回程度の頻度で開催している
7 いずれにもあてはまらない

IV 地域社会との連携状況についておうかがいします。

36 貴施設併設で児童家庭支援センター(児童福祉法第44条の2に規定する児童福祉施設)を運営していますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。

- 1 運営している(設問「38」へ) 2 運営していない

- ▼
- 37 上記設問で「2 運営していない」とご記入された施設におうかがいします。児童家庭支援センターを運営していただいても、地域住民の子育てに関する相談を行っていますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。
- 1 行っている 2 行っていない
- 38 ショートステイ事業またはレスパイト事業を実施していますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。
- 1 両方実施している 2 ショートステイ事業のみ実施している
3 レスパイト事業のみ実施している 4 どちらも実施していない
- 39 トワイライトステイ事業を実施していますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。
- *「トワイライトステイ事業」とは、父子家庭等で仕事等の事由により帰宅が恒常的に夜間にわたる場合にその子どもを児童福祉施設等に通所させ、生活指導、夕食の提供等を行うものです。
- 1 実施している 2 実施していない
- 40 貴施設のある地域に対して、施設の機能・役割などに関する広報活動を行っていますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。
- 1 行っている 2 行っていない
- 41 設問「36」～「40」までの事業には該当しないものの、地域の福祉ニーズに対応する体制を常時とっているものがありますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。
- 1 とっている 2 とっていない
- 42 貴施設のある地域で行われる行事に対して、計画段階から参与するなど、具体的な協力を行っていますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。
- 1 行っている 2 行っていない
- 43 バザー等貴施設が主体となって行っている行事に、貴施設のある地域の住民を招待していますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。
- 1 招待している 2 招待していない
- 44 貴施設がある地域の住民に対して、施設の開放を行っていますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。
- 1 開放している 2 開放していない(設問「46」へ)
- ▼
- 45 設問「44」で「1 開放している」とご記入された施設におうかがいします。どのような開放の仕方を行っていますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。
- 1 毎日開放している
2 常時ではないが、曜日や日にちを決めるなどして、定期的に開放している
3 施設行事のときや、地域住民から依頼があったときに限って、開放している

46 関係機関との定期的な連絡会を開催していますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、番号をご記入ください。

1 開催している 2 開催していない(設問「52」へ)

47 上記設問で「1 開催している」とご記入された施設におうかがいします。どの程度の頻度で開催していますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 1か月に一度以上実施している 2 3か月に一度以上実施している 3 半年に一度以上実施している
4 1年に一度以上実施している 5 いずれにもあてはまらない

48 設問「46」で「1 開催している」とご記入された施設におうかがいします。1回の平均的開催時間について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 1時間以内 2 1時間以上2時間未満 3 2時間以上3時間未満 4 3時間以上

49 設問「46」で「1 開催している」とご記入された施設におうかがいします。最も多く使用される連絡会開催場所について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 貴施設 2 貴施設以外の児童福祉施設 3 児童相談所
4 児童相談所以外の社会福祉行政機関 5 保健所等社会福祉領域外の専門機関・施設
6 市民センターのような一般住民に開放されている場所 7 特定できない
8 その他()

50 設問「46」で「1 開催している」とご記入された施設におうかがいします。連絡会に基本的に出席することを職務としている職種がありますか。以下の選択肢からあてはまるもの一つを選び、○をお付けください。

1 ある 2 ない(設問「52」へ)

51 上記設問で「1 ある」とご記入された施設におうかがいします。どのような職種の業務となっていますか。以下の選択肢からあてはまるものすべてを選び、○をご記入ください。

51-01 施設長 ()
51-02 主任児童指導員 ()
51-03 主任保育士 ()
51-04 家庭支援専門相談員 ()
51-05 個別対応職員 ()
51-06 看護師 ()
51-07 その他 () →職種名()

52 関係機関との定期的な事例検討会を開催していますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 開催している 2 開催していない(設問「56」へ)

53 上記設問で「1 開催している」とご記入された施設におうかがいします。どの程度の頻度で開催していますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

()
1 1か月に一度以上実施している 2 3か月に一度以上実施している 3 半年に一度以上実施している
4 1年に一度以上実施している 5 いずれにもあてはまらない

54 設問「51」で「1 開催している」とご記入された施設におうかがいします。1回の平均的開催時間について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 1時間以内 2 1時間以上2時間未満 3 2時間以上3時間未満 4 3時間以上

55 設問「52」で「1 開催している」とご記入された施設におうかがいします。最も多く使用される連絡会開催場所について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 貴施設 2 貴施設以外の児童福祉施設 3 児童相談所
4 児童相談所以外の社会福祉行政機関 5 保健所等社会福祉領域外の専門機関・施設
6 市民センターのような一般住民に開放されている場所 7 特定できない
8 その他()

56 ボランティアの受入にかかる担当者を配置していますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 配置している 2 配置していない

57 ボランティアの受入を行っていますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 受け入れている 2 受け入れていない(設問「61」へ)



58 設問「56」で「1 受け入れている」とご記入された施設におうかがいします。平成13年度におけるボランティア受入人数(延べ)についてご記入ください。

*「ボランティア」には、実習生は含みません。

*受入人数は、日数ではなく人数です。(例:Aさんが週3日ボランティア→「1」)

() 名

59 設問「56」で「1 受け入れている」とご記入された施設におうかがいします。ボランティアに対する研修を実施していますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 実施している 2 実施していない(設問「63」へ)



60 上記設問で「1 実施している」とご記入された施設におうかがいします。どのように実施していますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 必ず研修を受けさせている 2 必要に応じて研修を受けさせている

61 実習生受入にかかる担当者を配置していますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 配置している 2 配置していない

62 実習生の受入を行っていますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 受け入れている 2 受け入れていない(設問「67」へ)



- 63 設問「62」で「1 受け入れている」とご記入された施設におうかがいします。平成13年度における実習生受入人数(延べ)についてご記入ください。
*「実習生」には、ボランティアは含みません。
*受入人数は、日数ではなく人数です。(例:Aさんが4週間実習→「1」)

() 名

- 64 設問「62」で「1 受け入れている」とご記入された施設におうかがいします。実習生との反省会を行っていますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 必ず行っている 2 必要に応じて行っている(設問「67」へ) 3 行っていない(設問「67」へ)

- 65 上記設問で「1 必ず行っている」とご記入された施設におうかがいします。どの程度の頻度で行っていますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 毎日実施している 2 毎日ではないが、数日おきには行うようにしている
3 実習の中間と最後に実施している 4 実習の最後に実施している

- 66 設問「62」で「1 受け入れている」とご記入された施設におうかがいします。実習生の学校(大学、専門学校)の教員による巡回指導にどのように対応していますか。
以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 実習指導担当者が必ず指導場面に同席するようにしている
2 実習指導担当者が必要に応じて指導場面に同席するようにしている
3 実習指導担当者が指導場面に同席することはない

V サービス実施過程についておうかがいします。

- 67 職員会議はどの程度の頻度で開催していますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 1週間に1回以上の頻度で開催している 2 1か月に2～3回の頻度で開催している
3 1か月に1回程度の頻度で開催している 4 いずれにもあてはまらない

- 68 職員会議1回の平均的な開催時間について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 1時間以内 2 1時間以上2時間未満 3 2時間以上3時間未満 4 3時間以上

- 69 自立支援計画の策定状況について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。
*乳児院の場合、子どものケアに関する「養育計画」、家庭復帰に向けた「援助計画」を含めます。

1 すべての子どもたちについて策定している 2 一部の子どもたちについて策定している
3 策定していない(設問「72」へ)

- 70 上記設問で「1 すべての子どもたちについて策定している」「2 一部の子どもたちについて策定している」とご記入された施設におうかがいします。自立支援計画の見直し状況について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 見直しを行っている 2 見直しを行っていない

- ▼
- 71 上記設問で「1 見直しを行っている」とご記入された施設におうかがいします。どの程度の頻度で見直し
 ていますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。
- 1 半年以内に見直している 2 1年以内に見直している
- 72 設問「71」で「1 すべての子どもたちについて策定している」「2 一部の子どもたちについて策定している」
 とご記入された施設におうかがいします。自立支援計画の策定の際の、児童相談所との連携状況につい
 て、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。
- 1 必ず児童相談所と連携して策定している 2 必要に応じて児童相談所と連携して策定している
 3 施設職員だけで策定している
- 73 子どもたちとその家族からの苦情を解決するための委員会を定期的を開催していますか。以下の選択肢
 からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

- 1 開催している 2 必要に応じて不定期に開催している(設問「75」へ)
 3 開催していない(設問「76」へ)

- ▼
- 74 上記設問で「1 開催している」とご記入された施設におうかがいします。どの程度の頻度で開催していま
 すか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。
- 1 1か月に一度以上実施している 2 3か月に一度以上実施している 3 半年に一度以上実施している
 4 1年に一度以上実施している 5 いずれにもあてはまらない

- 75 設問「73」で「1 開催している」「2 必要に応じて不定期に開催している」とご記入された施設におうかが
 いします。苦情解決のための委員会に第三者委員を選任していますか。以下の選択肢からあてはまるも
 のを一つ選び、○をお付けください。

- 1 選任している 2 選任していない

- 76 施設の自己評価を実施していますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。
- 1 実施している 2 実施していない

VI そのほか、サービス内容に関わることについておうかがいします。

- 77 子どもたちの一時帰宅の決定について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

- 1 必ず児童相談所と協議して行っている 2 必要に応じて児童相談所と協議して行っている
 3 児童相談所とは協議していない 4 その他()

- 78 かつて貴施設に入所していた子どもたちが生活している各里親家庭に対して、定期的な支援を行って
 いますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

- 1 行っている 2 必要に応じて不定期に行っている 3 行っていない(設問「80」へ)

- ▼
- 79 上記設問で「1 行っている」「2必要に応じて不定期に行っている」とご記入された施設におうかがいしま
 す。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

- 1 里親宅へ家庭訪問することが多い 2 里親に来所してもらうことが多い

80 退所後の子どもや家庭に対する定期的な支援を行っていますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び○をお付けください。

1 行っている 2 必要に応じて不定期に行っている 3 行っていない(設問「83」へ)



81 上記設問で「1 行っている」「2必要に応じて不定期に行っている」とご記入された施設におうかがいします。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 家庭訪問することが多い

2 親に来所してもらうことが多い

82 設問「80」で「1 行っている」「2 必要に応じて不定期に行っている」とご記入された施設におうかがいします。平均的に見てどの程度行っていますか。以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 1週間に1回以上の頻度で出張している

2 1か月に2～3回の頻度で出張している

3 1か月に1回程度の頻度で出張している

4 半年に2～3回の頻度で出張している

5 半年に1回程度の頻度で出張している

6 1年に1回程度の頻度で出張している

7 いずれにもあてはまらない

83 心理療法を担当する職員を配置することの効果について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 大いにある

2 ある

3 どちらともいえない

4 あまりない

5 まったくない

6 非該当

ご協力まことにありがとうございました。

児童福祉施設における被虐待児童の実態等に関する調査研究 ＜職員プロフィール票～乳児院～＞

この調査票の回答は、直接処遇職員の方のみをお願いしています。

- 1 本調査におけるあなたの職員番号をご記入ください。
* 貴施設において本調査のとりまとめをしている職員から確認し、必ずご記入願います。

()
- 2 あなたの年齢をご記入ください。 () 才
- 3 あなたの性別について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 男性 2 女性
- 4 あなたの婚姻状況について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 配偶者あり 2 配偶者なし
- 5 あなたの雇用形態について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。
* 「常勤的非常勤」職員(勤務実態は常勤だが、待遇は非常勤)の方は、「非常勤」を選択してください。

1 常勤 2 非常勤
- 6 平成15年2月1日現在の貴施設における勤続月数をご記入ください(例 1年→12ヶ月)。

() カ月
- 7 平成15年2月1日現在の社会福祉施設・機関における勤務月数をご記入ください。
* 法外施設については除外してご記入ください。

() カ月
- 8 現在の職種について、以下の選択肢からあてはまるものを一つ選び、○をお付けください。

1 施設長(医師) 2 施設長(医師以外) 3 主任児童指導員 4 主任保育士
5 児童指導員 6 保育士 7 看護師(准看を含む) 8 助産師
9 家庭支援専門相談員 10 作業療法士 11 理学療法士
12 心理療法を担当する職員 13 その他()
- 9 あなたが所有する資格について、以下の選択肢からあてはまるものすべてを選び、○をご記入ください。

9-01 社会福祉士 ()
9-02 精神保健福祉士 ()
9-03 保育士 ()
9-04 医師 ()
9-05 看護師(准看を含む) ()
9-06 保健師 ()
9-07 教員 ()
9-08 作業療法士 ()
9-09 理学療法士 ()
9-10 心理に関わる資格* () *詳細は「記入要領」を参照